

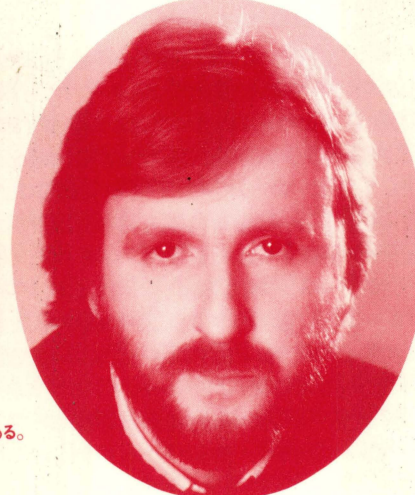


「ターミネーター」(83)のデザインは、ジェームズ・キャメロン監督自らが手がけたもの。スタン・ウィンストンと組んだ最初の仕事だった。

10/10 (金)

「エイリアン2のクリーチャーたち」

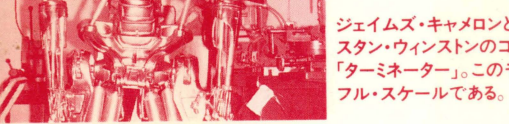
Stan Winston James Cameron



ジェームズ・キャメロン
1955年生まれ。若手監督の中で最も将来を嘱望されている1人。大学中退後、ロジャー・コーマンに師事し、SFXマンとして多くの作品にかかわる。「ランボーII」の脚本家として脚光をあび、その才能は早くから高く評価されていた。「エイリアン2」(86)は、「殺人魚フライング・キラー」(82)、「ターミネーター」(83)に続く3本目の作品。もしも、「ターミネーター」の成功後にエイリアン2の仕事がきていたら、きっと、引き受けなかっただろうとキャメロンは語っている。しかし、すでに頭の中にイメージができあがっていたので映画を製作するしかなかった、と言う。たった2日間で書きあげた45ページのあらすじがプロデューサーたちの心を動かし、全米大ヒット作「エイリアン2」が生まれたのだった。



「エイリアン2」撮影中のジェームズ・キャメロン。32歳という若き監督である。



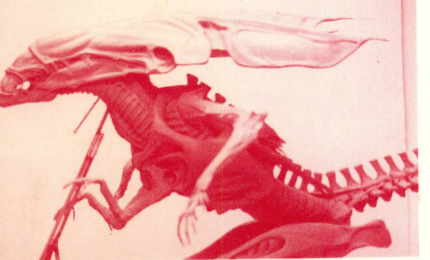
ジェームズ・キャメロンとスタン・ウィンストンのコンビが生んだ「ターミネーター」。このモデルはフル・スケールである。

スタン・ウィンストン

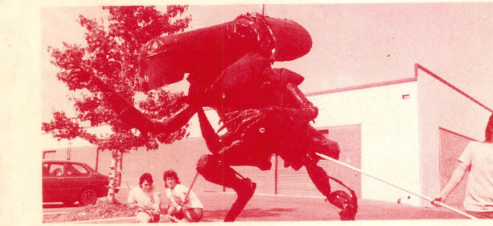
1946年生まれ。大学卒業後、俳優を目指してバージニアからハリウッドへ。そこでメイクアップ・アーティストの道を歩むことになる。ウォルト・ディズニー・プロダクションで3年間見習いとして学んだ後、「ガーゴイルズ」(72)、「ジェーン・ピットマン/ある黒人の生涯」(73)でエミー賞メイクアップ部門に輝く。「ターミネーター」製作準備中のジェームズ・キャメロンに紹介され、彼のデザインに感銘する。以後、「ターミネーター」「エイリアン2」でパートナーを組むことになるが、「クイーン・エイリアン」の登場は、まさにキャメロン＝ウィンストンのデザイン感覚から創造された、映画史に残るクリーチャーであろう。



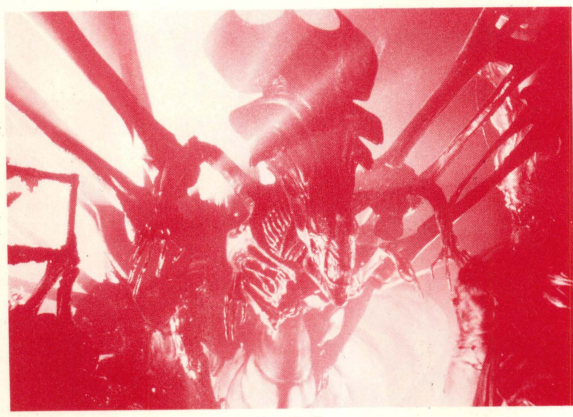
クイーン・エイリアンとパワーローダーに乗るリプリーの戦い。あの口から出る奇妙な舌はケーブルで仕込まれた。



クイーン・エイリアンは、ジェームズ・キャメロンのデザインをもとに、スタン・ウィンストンが彫刻。



14フィート(約4m)のフル・スケール「クイーン・エイリアン」を動かすために、ケーブル、水圧ポンプ、ラジオ・コントロール、さらに文楽パペットという新しい技法が登場した。



フル・スケールのクイーン・エイリアン登場。



このクイーン・エイリアンは1/4スケールのミニチュアを合成したものだ。

総合司会/御影雅良

協力/株式会社ワコールアートセンター

Twentieth Century Fox Film Corp./Paramount Pictures Corp./MGM Entertainment Co./Hemdale Film Corp./Columbia Pictures Tri-Star Pictures/The Walt Disney Company/株式会社Imagica/Academy of Motion Picture Arts And Sciences

UIP/日本ベストロン/BOSS FILM CORPORATION/東宝東和

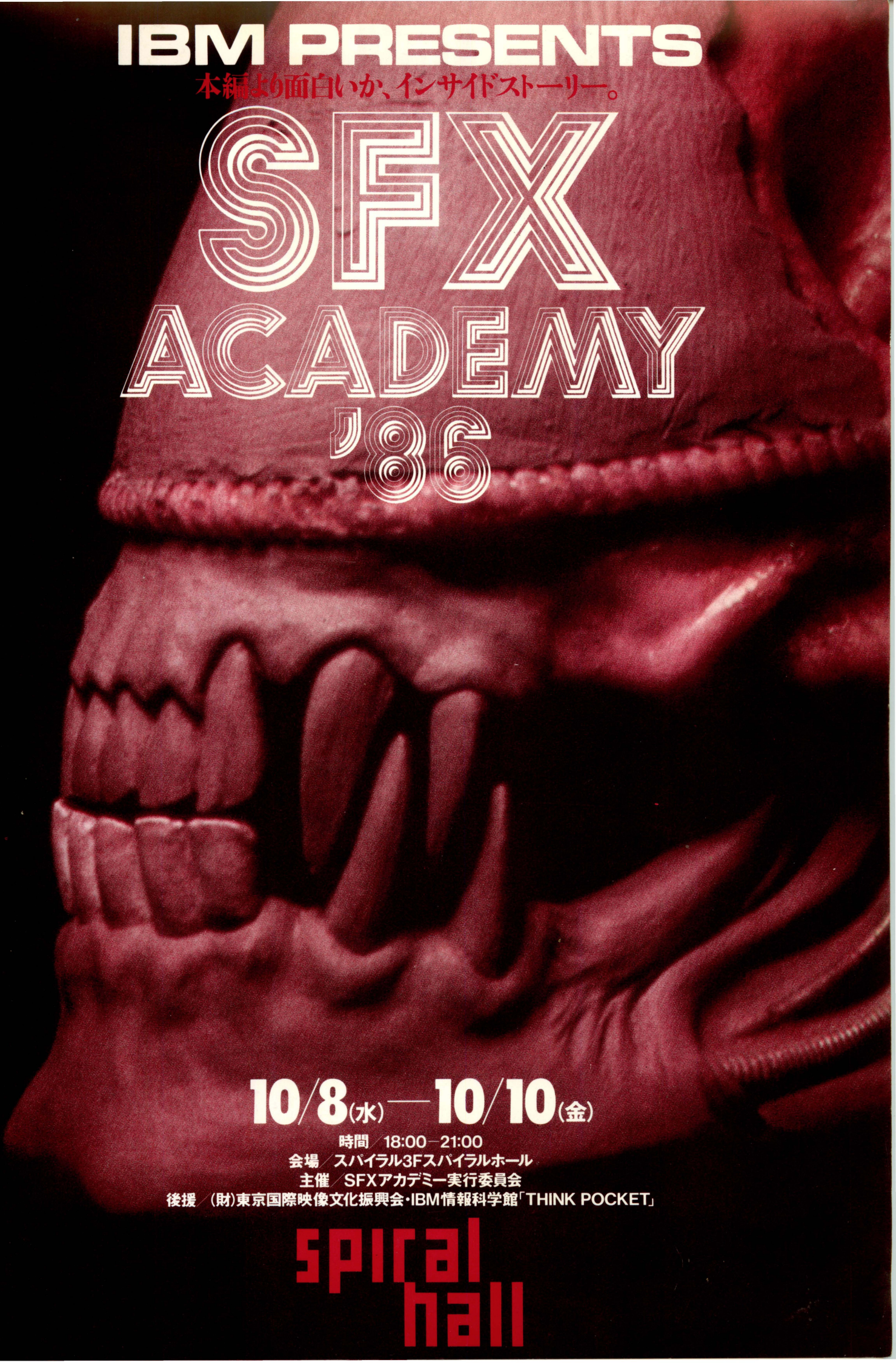
企画・制作/(株)グローバルコミュニケーションズ

SPECIAL THANKS TO POLLY APOSTOLOF CROSS/RICHARD EDLUND/LESLIE HUNTLEY/ARNOLD LEIBOVITZ/JOE VISKOCIL/LINDEN WINELAND

IBM PRESENTS

本編より面白いから、インサイドストーリー。

SFX ACADEMY '86



10/8(水) — 10/10(金)

時間 18:00-21:00

会場 スパイラル3Fスパイラルホール

主催 SFXアカデミー実行委員会

後援 (財)東京国際映像文化振興会・IBM情報科学館「THINK POCKET」

spiral hall

「ナビゲイター」(東宝東和配給12月)フロリダに突如現われたUFO、このUFOのミニチュアと光学効果を担当したのが、ジーン・ウォーレンJr.率いるファンタジイIIだ。

10/8(水)

「ジョージ・パルの世界とストップ・モーション・アニメーション」

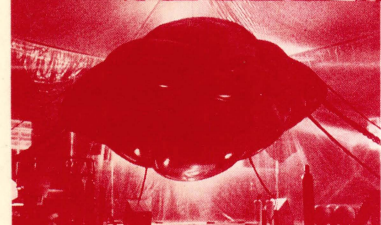
Gene Warren Jr.

ジーン・ウォーレン・ジュニア

1941年生まれ。父親のジーン・ウォーレンは、50年代にウォウ・チャンと組んでパラマウントのSFX部門を担当していた。主な作品にジョージ・パルの「親指トム」('58)、「タイム・マシン」('60)、「不思議な世界の物語」('62)があり、60年代のTV・シリーズ「アウトター・リミッツ」の成功によって確固たる評価を築いた。その息子であるジーン・ウォーレンJr.は1980年に工房を引き継ぎ、「FANTASY II」を設立、オーナーとして現在に至る。「スペースハンター」('83)、「ターミネーター」('83)、「グレムリン」('84)、「ナビゲイター」('86)、「ナイトフライヤーズ」('86)といった秀作を手がけ、TV大作「戦争の嵐」('82)ではSFXエミー賞を受賞。伝統的なストップ・モーションを駆使しながら、低予算の、新しいエフェクツを創造するSFXマンである。



ジョージ・パルのオマージュ、「パベトーン・ムービー」は、ジーン・ウォーレンJr.の自主製作作品である。

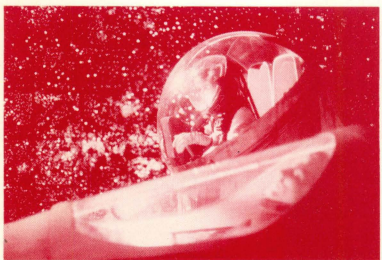


「ナビゲイター」のSFXスーパーバイザーはピーター・ドーン、コンピュータ・グラフィックはオムニバス・コンピュータ・グラフィックス社だ。「ナビゲイター」でジーン・ウォーレンJr.が一番苦心したシーンは、UFOとフロリダの観光客の遭遇シーンだという。貝がらのようなUFOは、なぜかジョージ・パルの「宇宙大戦争」に通じるつかいデザインだ。

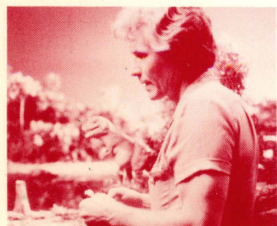


「ターミネーター」に登場するミニチュアは、ジェームズ・キャメロンがデザインしたものを、マイケル・ジョイスが製作した。ジーン・ウォーレンJr.は低予算で効果を上げるために、ストップ・モーションを使い撮影した。「ターミネーター」のハンターキラー戦車のビームは、ピーター・クレイノウが歯科用のレンズをクォーツライトにとりつけて成功した。

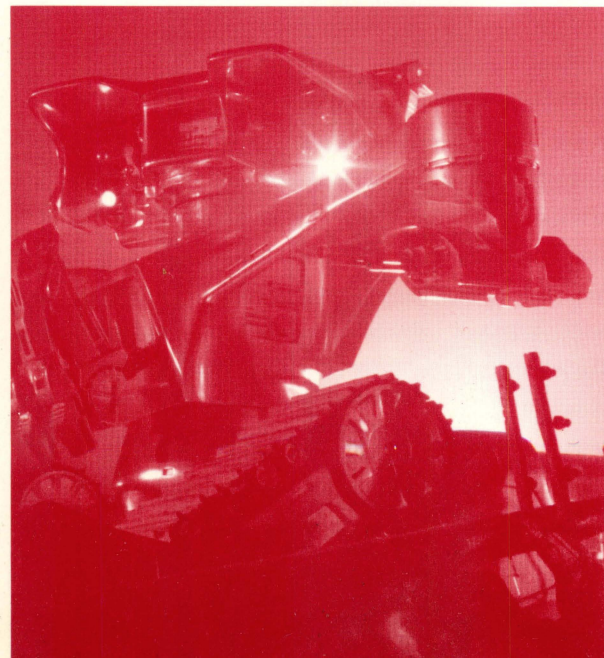
「ナイト・フライヤーズ」は現在ハープとジャフィ・プロダクションにより製作中のホットな作品だ。ストーリーはまだ紹介できないが、全米'87年度夏公開作品である。



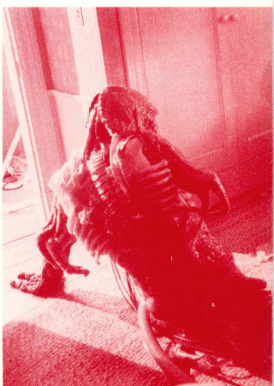
「ナイト・フライヤーズ」にはジーン・ウォーレンJr.が光学効果、ミニチュア撮影とロバート・ショート(E.T. スプラッシュ、コクーン)がクリーチャーのデザインに参加している。



撮影中のジーン・ウォーレンJr.

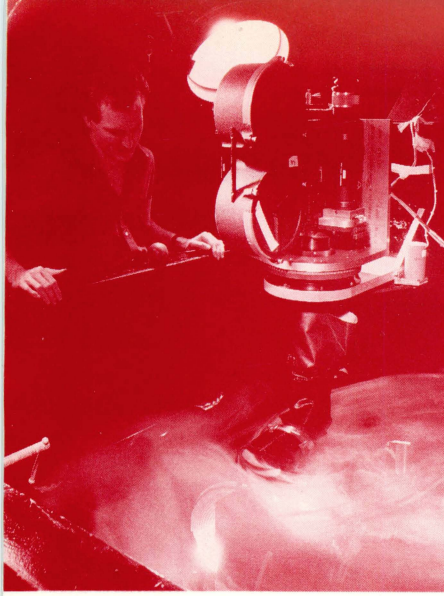


はじまりは「スターウォーズ」だった。1977年。僕たちは、映画製作の方法を、そして映像の楽しみ方さえも根底から覆すSFXの存在を、その時はじめて知ったのだ。それから10年。SFX技術は目を見張る進歩をとげ、映画史に残る作品も次々と生まれファンを魅了した。そして僕たちは、監督でも俳優でもない、しかしその映画の中心ともいえる男たち。SFXスーパーバイザーに自然と興味を持つようになった。たとえば「E.T.」。「ホルターガイスト」「ゴーストバスターズ」のリチャード・エドランドのような男たちに。彼らは、驚異的な映像技法をデザインし、SFXシーンを撮影を任せられ、映画プロジェクトのビジョンを創り上げるキー・パーソンなのだ。



ギーガーのデザインによるプリミティブ・クリーチャーは俳優のノーブル・クレイグの熱演によってはじめて完成された。

ジョン・ブルーノとリチャード・エドランドASCは、「ホルターガイスト」からのコンビであり、ジョンの良き師匠でもある。



エクトプラズムの撮影はゲイリー・ウォーラーによって、クラウド・タンクの中で造られた。さらに、アニメ・エフェクツが施され、あの発光体の効果生まれた。

10/9(木)

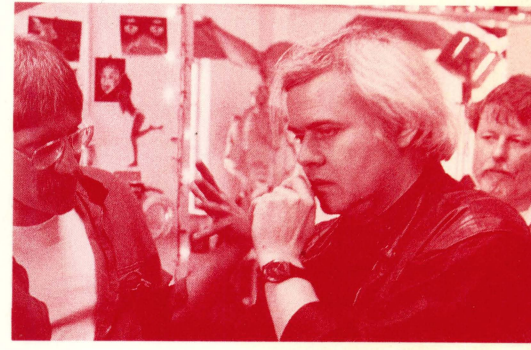
「ホルターガイスト2の美術とSFX」

John Bruno

ジョン・ブルーノ

1948年、サンフランシスコのモンレーに生まれる。幼少の頃から漫画家を目指し、ティーン・エージャーのとき、すでにウォルト・ディズニーのスタジオでドナルド・ダックを描いていた。ラルフ・バクシ監督の「フリッツ・ザ・キャット」('72)、「指輪物語」('78)と参加し、ロトスコピング技法を開発した。アイバン・レイトマン監督による劇場用アニメ「ヘビィ・メタル」では「ターナー」の章を演出、監督し、これがジョージ・ルーカスに認められILM入りをはたした。「ホルターガイスト」('79)ではアニメーション・エフェクツをデザイン、その後、リチャード・エドランドのBFCに移る。SFXの美術と撮影監督を務めた「ゴーストバスターズ」('84)、「フライトナイト」('85)はそれぞれアカデミー賞にノミネートされた。SFXアート・ディレクター、コーププロデューサーとして「ホルターガイスト2」('85)の再編集(21分)を担当。

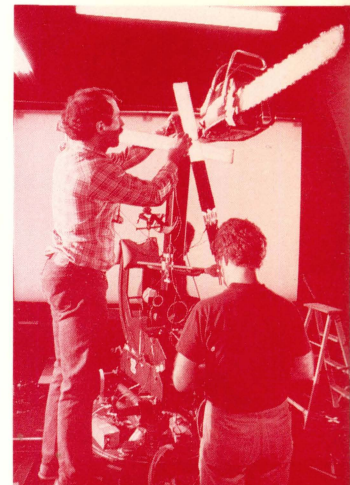
「ホルターガイスト2」のクリーチャーのデザインには、スイスの幻想画家HR・ギーガーが参加した。ギーガーはエイリアンのデザインで有名である。



インディアンのテイラーが蝶を呼び出す感動的なシーンも、見逃すことのできないSFXだ。ここでは本物とミニチュアがうまく合成されている。



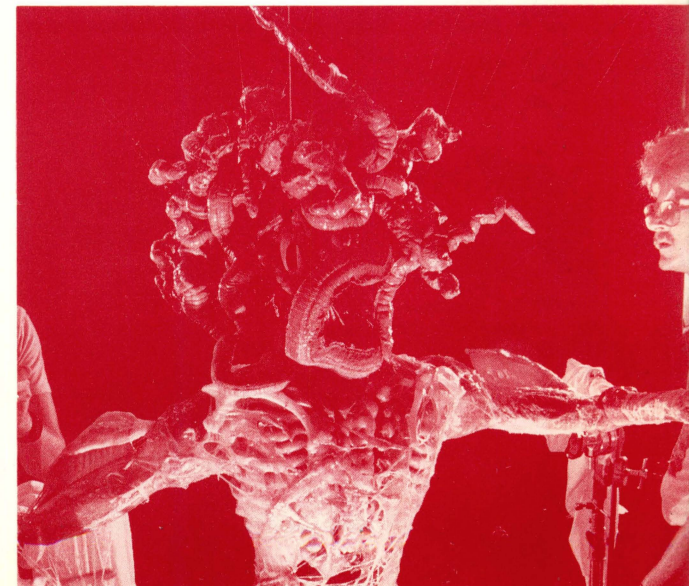
ジョン・ブルーノとテラードッグ。「ゴーストバスターズ」でリチャード・エドランドと組み、BFCをSFX工房の第一級としてデビューさせた。



電動ノコギリがフリーリング一家を襲う恐ろしいシーンは本物をモーション・コントロールカメラでプログラムすることによって撮影された。



「ホルターガイスト2」の中で最も刺激的なSFXシーン。ミニチュアの家、実写とアニメ、クラウド・タンクが使用された。



10数名の人形師たちによる、あやつり人形のテクニックを応用して撮影されたグレード・ビースト。

Photo by Virgil Mirano for Boss Film Corporation.